南	アルプス市	平成	24	年度(事務事業 善) 予質編成	、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		作	成日 H 25	年	3	В	21 日作	F Ft
			Н	•			所属部局		合政策部		位番号	• •		2040
	事務事業名	中部西関東市町村			型	所属課室	政策推進課			課長名		大芝 久		
			т		L	」実施計画事業	所属担当	行政i 会計	運営・統計担当名称 Ⅰ	<mark>↓担</mark> 款	当者名項	<u>5</u> 目	三枝	万也 細々目
	基本政策	本		情報と連携の都可	市づくり		予算科目	01	一般	02	01	07	020	12
	政策	画)1	行財政改革の推	進		事業区分	□県	の制度による の制度による	務的	事業	□ 補	設等維持 助金交付	事業
	施策	体系)2	行政改革の推進			7 7 6 7		の制度による 務化されている			_		業
	事業期間		年度の∂ 間限定ネ	タ ▽ 単年度繰返 复数年度 (☑ (開始年度 ~	H15 年度) 年度)	法令根拠							
		期間限:	定複数年	F度事業は次年度以		容も記載				決算	見込)		
務事					┧線に位置する市町村の交流・連 を図るため、中部横断自動車道≯		項目(細	節)	金額(千円)		項目(細節)	金額	頁(千円)
	All the state of the first of the state of t									·•····				
の概	協議会の事業 ①国、関係市町	オとの信	弱交換							ļ				
要				村の連携構想の実現	見に向けた啓発					·	計			(
1	現状把握(D						•			•			•	
	事務事業の目的 活動	と指稿	Ř.				<u>(5)</u> Ξ	動指標	<mark>(事務事業の</mark> 流	E 耐 昰	を表す	指煙):	数字け記	入し <i>た</i> に
	/ <u>印</u> 男 年度活動実績	総会・	担当者会	除への出席、負担金	の納入] [名称	コ利里	C 1X 9	1日1示/	双丁16 配 单位	立 立
24	十戊/11 到天祖						→ ア 総	会等^	への参加回数 負担金額				回 千P	
25	年度活動予定						1.版 ウ	議会多	担金額	•••••				<u> </u>
2	対象(この事務事	業は	誰、何を	対象にしているの	0か) * 人や自然			象指標	(対象の大きさ	を表す	‡指標)	数字に	は記入しな	
							フ :材	議会会	名称 >昌粉				単位 団体	<u>立</u> 未
協	議会会員						⇒ 7 th	対式 エ	(貝奴				国大	4
	÷ =	alte e e e	111676	18 - 1 5 / 10 66			ウ	- TF 12						
(3)	息凶(この事務事	業により)対象を	どのような状態にし	ていくのか、とのよ	つに変えるのか)	<u>(/)</u>	朱指榜	<mark>(対象における意</mark> 名称	製の:	達成度を	表す指	i標)数字(a 単位	は記人しな 立
				自動車道沿線市町	村の広域連携によ	る懸案事項に関す		報収集					回	
る情	報の共有・収集及	び研究	が出来る	5.			イ : ウ							
4.	上位目的(どの。	くうな糸	集に約	昔び付けるのか)				位成果	!指標(結果の	達成度	を表す	指標)	数字は記	
叔	達今加7 古町おし	の仕ば	浦堆に	より、効果的な事業な	(宝梅される			(4) (4)	名称 §による実施事	- 414- AT			単位	<u>.</u>
ממט											•			
		.07/公坝	建拐(Co	K)(////K 5'-S F ///.)		⇒	以上分	多による夫旭寺	・美数			11	
(2)				23年度	24年度	25年度	 		27年度		28年月		最終	年度
$\dot{}$	事業費・指標の	推移	単位			25年度 (予算·目標)	→ 1							年度コスト・目標
年	事業費・指標の	推移 出金	単位千円	23年度	24年度		 		27年度		28年月			
年間	事業費・指標の 財 国庫支 事 別 地方	推移 出金 1金	単位 千円 千円 千円	23年度	24年度		 _イ		27年度		28年月			
年間トー	事業費・指標の 財 国庫支 事源 地方 業内 その	推移 出金 遺金	単位 千円 千円 千円	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込·実績)		 _イ		27年度		28年月			
年間トータ	事業費・指標の 事業内 事業内 表別 事業内 一般 事業費計	推移 出金 情 他 扩源 (A)	単位 千円 千円 千円	23年度 (決算·実績) 50 50	24年度 (決算見込·実績) 0 0		 _イ		27年度		28年月			
年間トータルコ	事業費・指標の 事業内 事業内 一般 事業費計 人 正規職員従事	推移 出金 情 心 が (A)	単位 千円 千円 千円 千円 千円	23年度 (決算·実績) 50 50 2	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2	(予算・目標)	 _イ	目標)	27年度(計画・目標)		28年月	標)		コスト・目標
年間トータルココ	事業費・指標の 事業内 事業内 表別 事業内 一般 事業費計	推移 出金 情他 小源 (A) 事人数	単位 千円 千円 千円 千円 千円	23年度 (決算·実績) 50 50	24年度 (決算見込·実績) 0 0	(予算・目標)	 _イ	目標)	27年度(計画・目標)		28年月	標)		コスト・目標
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費・指標の: 国庫支 関源のは、選集支出 でである。 事業費計 人のでは、 上規職員従い。 体	推移 出金 情他 が源 (A) 事情間 (B)	单位 千円円 千円円 千千円円 千八時 千八時 千八日 千八日	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2	(予算・目標)	26年度 (次年度計画・	1標)	27年度(計画・目標)	(28年月	()	(トータル=	コスト・目標
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費 財源の: 事業費 小訳: 一般! 事業員 一般! 事業員 大件費:	推移 出金 情他 が源 (A) 事人間 (B)	単位 円円円円円 千千人間 千千円	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費 財源 国庫支出	推移出金 (A) (A) (B) (B) アイウ	単位 千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費 財源内訳 単元 一一般 事業費員 上工規職業養員 人件費 人件費計 (A)+(B)	推移出金債他が源(A) 「A人間」アイヴァ	単位 円円円円円 千千人間 千千円	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費 財源 国庫支出	推移出金 (A) (A) (B) (B) アイウ	単位 千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	イ: 26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の 事業費 財源内訳 事業費 「無力のの 事業費員従事 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費	推移出金債他が源(A) 「A人間」アイヴァ	単位 千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	イ: 26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の: 事業費 財源内訳 単元 一一般則 事業費員従事業費員従事業務員 人件費 (A)+(B)	推 8 金	単位 千円円 千千円円 千千円円 千千八時 千千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	イ: 26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルココ	事業費・指標の 事業費 財源内訳 事業費 「無力のの 事業費員従事 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費	推 3 債他が源している。 「は 1 債性が源している。」 「 1 人 数 で 1 人 で アイウアイ	単位 千円円 千千円円 千千円円 千千八時 千千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 0 2 4 16	(予算・目標)	イ: 26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルコスト	事業費・指標の 事業費・指標の 事業費 財源内訳 事業費 上でで 事業員の 事業員の 事業員の 事業員の 事業員の 事業員の 大件費 (A)+(B) 活動指標 対象指標 成果指標 上位成果指標	推 出金 情他源 (A) 事情(B) アイウアイウアイ	単位 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円回円 付件 件	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 2	24年度 (決算見込·実績) 0 0 2 4 16 16	(予算・目標)	イ: 26年度 (次年度計画・	0 0	27年度(計画・目標)	(28年月	0	(トータル=	コスト・目標 0 0
年間トータルコスト (3)ご	事業費・指標の 事業費 財源内訳 事業員 選売 (A)+(B) (A)+(B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	推 出金 情他源 (A) り り でイウアイウアイ 巻	単位 千千円 千千円 千千八 時間 千千回 千千回 千千回 千千回 千千回 千千回 千千回 千千回 千千回 千千	23年度 (決算·実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0	24年度 (決算見込·実績) 0 0 2 4 16 16	(予算・目標)	イ 26年度 (次年度計画・	0 0 0	27年度 (計画·目標) 0 0		28年月	(標) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	(h-9)	0 0 0 0
年間トータルコスト (3)ご	事業費・指標の 事業費 国原支	推 出金 情 他 源 (A)	単位 千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 2.0 2 2 2 2 2 2 2 2 2	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16	(予算・目標) 0 0 0 まご見等 静岡県をつなぐ道、 ・文化・福祉などの	川、鉄道の沿流機能の整備を	3 標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度(計画・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	が地域	28年 J 計画・目	(標) 0 0 0 0 x (源を共	(トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トータル= (トーター (ト) (ト) (ト) (ト) (ト) (ト) (ト) (ト) (ト) (ト)	12スト·目標 0 0 0 0 ·連携そ
年間トータルコスト (3)3	事業費・指標のできません。 事業費 財源内訳 事業職 (本)	推 出金 情他源(A) り頃 り頃 状況	単位日田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 2.0 25.0	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16 2等)の変化、市 長野県、山梨県、 促進し、道路・産業 現在は構成市町木	(予算・目標) 0 0 0 0 まご見等 静岡県をつなぐ道、 ・文化・福祉などの ・すの脱退が進み、山	川、鉄道の沿流機能の整備を 梨県と長野県	3 標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	が地域のことで成2	28年 J 計画・目 を目的 2年度	標	fし、交流 された。 舌動は協議	17.7.1 目標 0 0 0 0 0 *連携そ
年間トータルコスト (3)(3)(1)(2)(2)(2)(3)(1)(2)(3)(1)(2)(3)(1)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)	事業費・指標の記事業費 財源内訳 事業職 一一般計 単 一	推 出金 (単位 千千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 2.0	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16 2 毎 16 16 16 16 17 現在は構成市町木7市町による「鳥獣現在の活動は、中	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 0 はおります。 では、	一 イ: 26年度 (次年度計画・ (次年度計画・ 川、鉄道の沿・ 機能の整備を 梨県と長野県 设置し、里守り: 沿線一部地域	事標) の の の の の の の の の の の の の	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 な置する市町村地域を活性化すのみとなった。 え、鹿の捕獲と周	が地域を平成2と	28年 J 計画・目 数の資的 2年度ご 活用に	標	fし、交流 された。 活動は協議	17.7.1 目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3)ご ① ② ③	事業費・指標の記事業費 国原支方の 事業職 (A) +(B) 活動 指標 は	推 出金	単在一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年一年	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 2.0	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16 2 毎 16 16 16 16 17 現在は構成市町木7市町による「鳥獣現在の活動は、中	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 なぐ道、 ・文化・福祉などの けの脱退が進み、山 害対策検討会」を	一 イ: 26年度 (次年度計画・ (次年度計画・ 川、鉄道の沿・ 機能の整備を 梨県と長野県 设置し、里守り: 沿線一部地域	事標) の の の の の の の の の の の の の	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 な置する市町村地域を活性化すのみとなった。 え、鹿の捕獲と周	が地域を平成2と	28年 J 計画・目 数の資的 2年度ご 活用に	標	fし、交流 された。 活動は協議	17.7.1 目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3)3 ① ① ② ② ③ (4)	事業費・指標の記事業費 国際 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	推 出金	単千千千千人間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 2.0	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16 16 2 現在は構成市町本 7市町による「鳥獣現在の活動は、中が果たされておらず	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 1 (下類・目標) (下記) (下記)	一 イ: 26年度 (次年度計画・ (次年度計画・ 単機能の整備を 梨県と長野県 受置し、里守り: 沿線一部地域 う意見がみらる	3 標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	が地域ることで成名であり、	28年 J 計画・目 変の資 の で 2年度 活用に 協議会	(す)	fし、交流 された。 活動は協議	17.7.1 目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) (3) (4) (1)	事業費・指標ので支持を表する。	推 出金債他源(A人間) アイウアイウアイ 巻 ど 別で	単千千千千人時円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 24.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	24年度 (決算見込・実績) 0 0 2 4 16 16 16 16 2 現在は構成市町本 7市町による「鳥獣現在の活動は、中 が果たされておら・ 取り組み	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 0 はおります。 では、	一 イ: 26年度 (次年度計画・	3 標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 な置する市町村 地域を活性化す のみとなった。 は、鹿の捕獲と腐鉄害対策のみて	((が地域 ること で成2 であり、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28年J 計画・目 変の で 2年用 に 会 理由 し	(す)	作し、交流 された。 活動は協調 番研究	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) (3) (4) (1)	事業費・指標の記事業費 国際 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	推 出金 情他源(A) 関い	単千千千千人間円円円円一千一回一件にはない。	23年度 (決算・実績) 50 50 2 12 48 98 2.0 50.0 9.0 24.0 対象者・社会状況 章で開始されたの または5年前と比 多の予測は? 事業対象者、議会 5れているか?	24年度 (決算見込・実績) 0 0 0 2 4 16 16 16 16 16 16 17 18 19 19 19 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 1	イ:: 26年度 (次年度計画・	国標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 な置する市町村地域を活性化すのみとなった。 は、鹿の捕獲と周状害対策のみて	((28年 別計画・目 数の目標と ででは、会 理由↓に、会	(標) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (10)	作ータルニ 育し、交流 活動は協議 時の広域的	12スト·目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3)3 ① ① ② ③ (4) ① ② ②	事業費・指標ので支持ののででは、	推 出金 情他源(A) 関い で く い 関い 組み 善い 移 金 り頃 状か (係要 み実 の場 アイウアイ ウアイ 巻ど に 記者望	単千千千千人間円円円円の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	23年度	24年度 (決算見込・実績) 0 0 0 2 4 16 16 16 16 16 16 17 18 19 19 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	(予算・目標) (予算・目標) 0 0 0 0 0 はおります。 (内の脱退が進み、山害対策検討会」を記す、加入の意義を問じている。 ⇒【内・・担当社会への参げ・担当社会への参げ、	一 イ:: 26年度 (次年度計画・ (1標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27年度 (計画・目標) ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	(((((((((((((((((((28年 別計画・目 数の目標と ででは、会 理由↓に、会	(標) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (10)	作ータルニ 育し、交流 活動は協議 時の広域的	12スト·目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

③ H 24年度に実施した改革改善の内容

2	評価(Check1)担当者による					
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の 施策に結びつき、貢献しているか?意図 が上位目的に結びついているか?	☑ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 結びついている ⇒【理由↓】 現在加入している9市町のみでは上位目標を達成することは出来ず、国の補助金により実施している鳥獣害対策検討会の事業は平成23年度で終了し、今後の実施事業について9市町での再検討が必要となる。				
目	②公共関与の妥当性					
	この事務事業を税金を投入して市が行	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映☑ 妥当である ⇒【理由↓】				
	わなければならないのか?	広域的政策体系であるため公共関与は妥当である。				
114						
性	民間やNPO、市民協働に移行すること					
評	は可能か?	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 🗌 民間・NPO 👚 市民協働				
価	③ 維持・継続の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
	現状の対象と意図、成果から考えて、この東発度業を収またねまり、雑誌、雑誌	☑ 適切である ⇒【理由↓】				
	していくことは妥当か?目的や事業の必	協議会の目的から考えると、対象・意図は適切である。				
	要性を見直す余地はあるか?					
	④ 成果の向上余地	かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
		▼ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
	今後さらに事務事業の成果を向上させる ことはできるか?できない場合は何が原	□ 向上余地がない ⇒【理由↓】				
	因でできないのか?	今年度以降の事業によっては成果の向上余地はある。				
有	(5) 類似事業との統廃合・連携の可能性	▼ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)				
効	 類似した目的を持つ事務事業が他にあ					
性	るか?類似事務事業がある場合、その	▼ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】				
評	事務事業との統合や連携を図ることはで	現在計画整備中の事業であり統合・連携は難しいものの、政策体系は類似しており代替の可能性がある。				
ТЩ	きるか?	類似事務事業がない				
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休	□影響なし □影響なし □影響なし □ 休止・廃止ができる □ 休止・廃止ができる				
	止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響	☑ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】				
	はあるか?また成果から考えて、休止・	行っており、脱退した場合でも大きな影響はないと思われ				
	廃止することはできるか?	ప .				
	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
		☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】				
効	放果を下げすに事業質(コスト)を削減で きないか?(仕様や工法の適正化、住民	負担金額は定額で固定されており、削減余地はない。				
率	の協力など)					
性	⑧ 人件費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
評価	成果を下げず人件費を削減できない	☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】				
ІЩ		最小限の事務事業のみ実施しており、削減余地はない。				
	時間の削減や臨時職員対応や外部委託 による削減はできるか?)					
公	③ 受益機会・受益者負担の適正化余地	▼ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映				
平		□ 公平・公正である ⇒【理由↓】				
性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っ	本来の広域的な目的に反し、鳥獣害対策事業に限定されているため、事務事業の内容が一部の受益者に偏重している。				
評価	ていないか?受益者負担を見直す必要 はないか?公平公正か?					
		ᅟᆝᅾᄝᅷᆎᄊᅖᆝᄊᅜ				
	評価(Check2)担当課管理者 1次評価者としての評価結果	こよる評価結果と総括 (2)1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)				
<u>\ </u>	<u>・「久計画省としての計画相来</u> ① 目的妥当性 □ 適切 ▼ 見直し	カギ ケッキ ツムナッロ ひょう 四点 いしったい ケツ 「光神図 きまはよう」 まいしょう 年かしゃ キャンカサ				
1		される可能性がある。本協議会での新事業実施の効果よりも、今後の情勢により広域的な取組を行ったほうが				
1	② 有効性 ☑ 適切 □ 見直し	余地あり 効果が高いと考えられる。 ・・・・・・ なお、平成24年度に事業実績がなく、総会等の実施もないため事業終了が決定。				
1	③ 効率性 □ 適切 ☑ 見直し	余地あり (***)、下以とサナスにず未大順がは、、松云寺の天旭ひはいたの事未於」が伏た。				
	④ 公平性 □ 適切 ▽ 見直し	余地あり				
<u> </u>						
	今後の方向性(事務事業担当課) 今後の事務事業の方向性(Check					
	<u>/ ラ後の事務事業の方向性(Cneck</u> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<u>の 有条 かったの る)・・・ </u>				
	休止(目的妥当性①、②、③の結果)	□ 成果向上(有効性④の結果) □ 現状維持(全評価項目で適切) □ コスト水準				
ľ	休正(日的安当性()、②、③の結果) 必要性検討(目的妥当性()、②、③の結:					
(
1	り改革改善案について					
2						
3						
		準 低 口				
1		L L L L L L L L L L L L L L L L L L L				
(4)改革改善を実現する上で解決すべる	課題とその解決策 (5)事務事業優先度評価結果				
(1)						
6						
2		成果優先度評価結果				
3						